

1 OpenSignalsソフトウェアのダウンロード

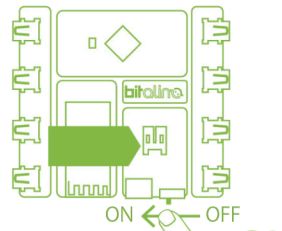
<http://bitalino.com/en/software>よりご自身のPCにダウンロードしインストールしてください。



OpenSignalsの新しいリリース情報やバグ修正等があった場合は、通知が表示されます

2 BITalinoの電源をONに


バッテリーを電源 (PWR) ブロックにあるソケットに差し込み、スイッチをONにしてください。



白色LEDがマイクロコントローラ (MCU) ブロック上でゆっくり点滅するため、デバイスがオンになっていることを簡単に確認できます。


3 お手元にあるBITalinoは…

BT



Step3.1へ

BLE



Step4へ

一部のBluetoothアダプタは、BITalinoのスループットを処理するためのパフォーマンスに制限がありますのでご注意ください。

追加情報については、フォーラム (bitalino.com/ble-notes)にてご参照ください。

4 OpenSignalsを起動します

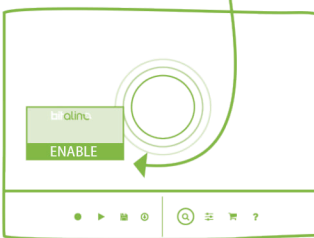
サーチをクリックしBITalinoを探してください。



これにより、コンピュータのBluetooth範囲内に入っているデバイスが検索されます。

5 BITalinoを有効にします

BITalinoが有効になっていることを確認してください。(ENABLEボタンが青色で強調表示されます)



最初に使用する場合は、BITalinoの情報を取得するために、自動的に有効になります

6 楽しんでください!

●(記録ボタン)をクリックし生体信号を楽しんでください!



データ取得を停止した後、■ボタンでデータを保存できます。様々な機能や使い方についてはOpenSignalsのマニュアルをご覧ください。

3.1 Bluetoothアダプタの設定

Windows

内蔵Bluetoothアダプタ
WindowsタスクバーでBluetoothアダプタをアクティブにしてください。



外部Bluetooth dongle
Bluetooth dongleを差し込み、デバイスのインストール終了まで待ってください。



Mac OS

メニューバーの右上を確認し、Bluetoothをオンにしてください。Bluetooth環境設定を開きます。Mac OSでは内蔵Bluetoothアダプタで動作します。



3.2 BITalinoをペアリングします

Windows



ペア時のPINコード: 1234

Mac OS



Mac OSは自動的に接続状態を管理します。ペアリングしてからデバイスを使用せずに、しばらく時間が経過すると「Not Connected(接続されていません)」と表示されます。これは正常な動作で、BITalinoを再度ペアリングする必要はありません。(Mac OSはデバイスを使用しようとする自動的にデバイスの状態を「Connected(接続済み)」に戻します)

A パフォーマンスについて

もし接続が切れてしまったり、データが上手く取得できない場合は、デバイス設定ウィンドウで取得するチャンネル数を減らしたり、サンプリングレートを下げてから試してみてください。



Soft & API & Documentation

Software and APIs

<http://bitalino.com/en/software>
<http://bitalino.com/en/development/apis>

Detailed documentation

<http://bitalino.com/en/learn/documentation>
<http://bitalino.com/en/learn/examples>

生体センサBitalino製品多数お取り扱い中!

スターターキットからソフトウェア、センサその他のアクセサリまで多数取り揃えております。




(株)クレアクト・インターナショナルはPlux社の正規代理店です。